

修学院小学校運営協議会だより

第28号 学校運営協議会理事長 青木 克之 修学院小学校長 鎌田 賢二
令和5年12月22日発行 家庭数配布



師走の候、平素より、修学院小学校運営協議会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。さて、新型コロナウィルスの流行に伴う様々な教育活動の制限が緩和され、子どもたちを取り巻く環境も以前を取り戻してきつつあります。すべてをコロナ前に戻すのではなく、これからよりよい学校生活にむけて教職員全員で考え、実践して参りました。子どもたちも、保護者・地域の皆様も楽しみにしておられる行事も、形を変え実施する運びとなり、これまで以上にご理解とご支援をいただいておりますこと、感謝いたしております。

さて、2学期のまとめの時期となりました。これまでを振り返り、子どもたちのため、よりよい学校づくりを目指し、3学期に向かってまいります。今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願ひします。

学校安全環境委員会

10月24日(火)2校時に不審者侵入対応訓練を実施しました。不審者侵入対応訓練では、不審者が侵入した時の緊急通報の聞き方や避難の仕方等を知り、混乱することなく整然と素早く行動できるように取り組みました。教職員においても、アトム班(不審者対応班)を構成し、不審者に対して、すぐに相互に協力し合って児童の安全を守れるように訓練を行いました。

事後指導として、PTA環境委員の方がご用意してくださった動画を視聴しました。また教職員研修として、下鴨警察署の方から「さすまた」などを使って不審者の取り押さえ方や簡単な護身術を教わりました。

学び支援委員会 開かれた学校委員会



学校運営協議会で委員の方々にまなびの池の整備をしていただきました。まなびの池の水を抜き、池の中を清掃し、地域の方から寄付いただいた鯉を放流しました。そして運動場にあった総合遊具を再利用し、まなびの池の柵を制作していただいている。2~3月にかけて、6年生の茶道体験も実施予定となっております。

今後とも、子どもたちが安心して学校で学べる環境づくりに努めて参ります。子どもたちのために、できることを考えながら、安全に留意し活動を進めて参ります。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

～修学院散歩～

今夏、玉垣の修復を終えた「鷺森神社」

修学院、山端の氏神社として今日に至る鷺森神社は、貞觀年間(859~877年)に創建されたと传わります。最初は比叡山麓の赤山禪院付近に祀られましたが、応仁の乱(1467~1477年)の戦火で焼失しました。その後、今の修学院離宮あたりに移されました。離宮造



宮にあたり靈元天皇により元禄2(1689)年、現在地に遷座しました。5月4・5日の神幸祭には、お神輿が巡行します。また、紅葉の名所でもあり、四季を通じてたくさんの方々が散策を楽しめています。

(小池 寛)

開かれた学校委員会

コミュニケーションシート(子ども育みアンケート)より

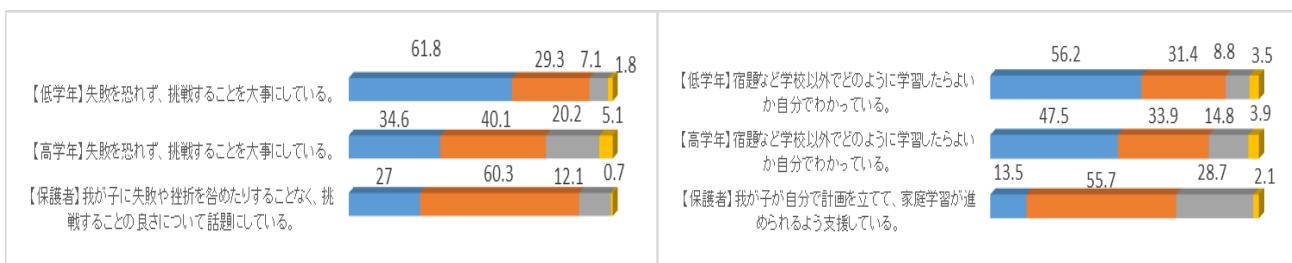
1年に2回実施しております子ども育みアンケートの、1回目の結果と分析をお知らせいたします。

家庭と学校が協力して子どもたちの学校生活をより良いものにしていくために、児童・保護者・教職員が、自己評価という形で学校生活・家庭生活を振り返って行っています。このアンケートの結果の分析を元に現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていきたいと思います。また、学校運営協議会の「開かれた学校委員会」の委員の方々に、意見を頂いたものも合わせてお知らせさせて頂きます。お忙しい中アンケートへのご協力ありがとうございます。修学院小学校がよりよい学校となるよう教育活動を進めて参ります。

アンケートの項目につきましては「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の結果と考察をお知らせしたいと思います。

確かな学力

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない



<学校より>

『確かな学力』に関する質問項目では、いずれの質問にも概ね肯定的な回答を得ています。「学校での学習を楽しんでいる」という質問においても、低学年で93.3%、高学年で86%の児童が「(よく・だいたい)できている」と答えており、子どもたちが前向きに学習に取り組んでいることが分かります。「学習を楽しむことや学ぶことの大切さについて家庭で話題にしている」という保護者の項目でも、84.8%ができるとお答えされています。アンケート結果からも、家庭と学校とが子どもたちの楽しい学校生活を支えていると分かります。

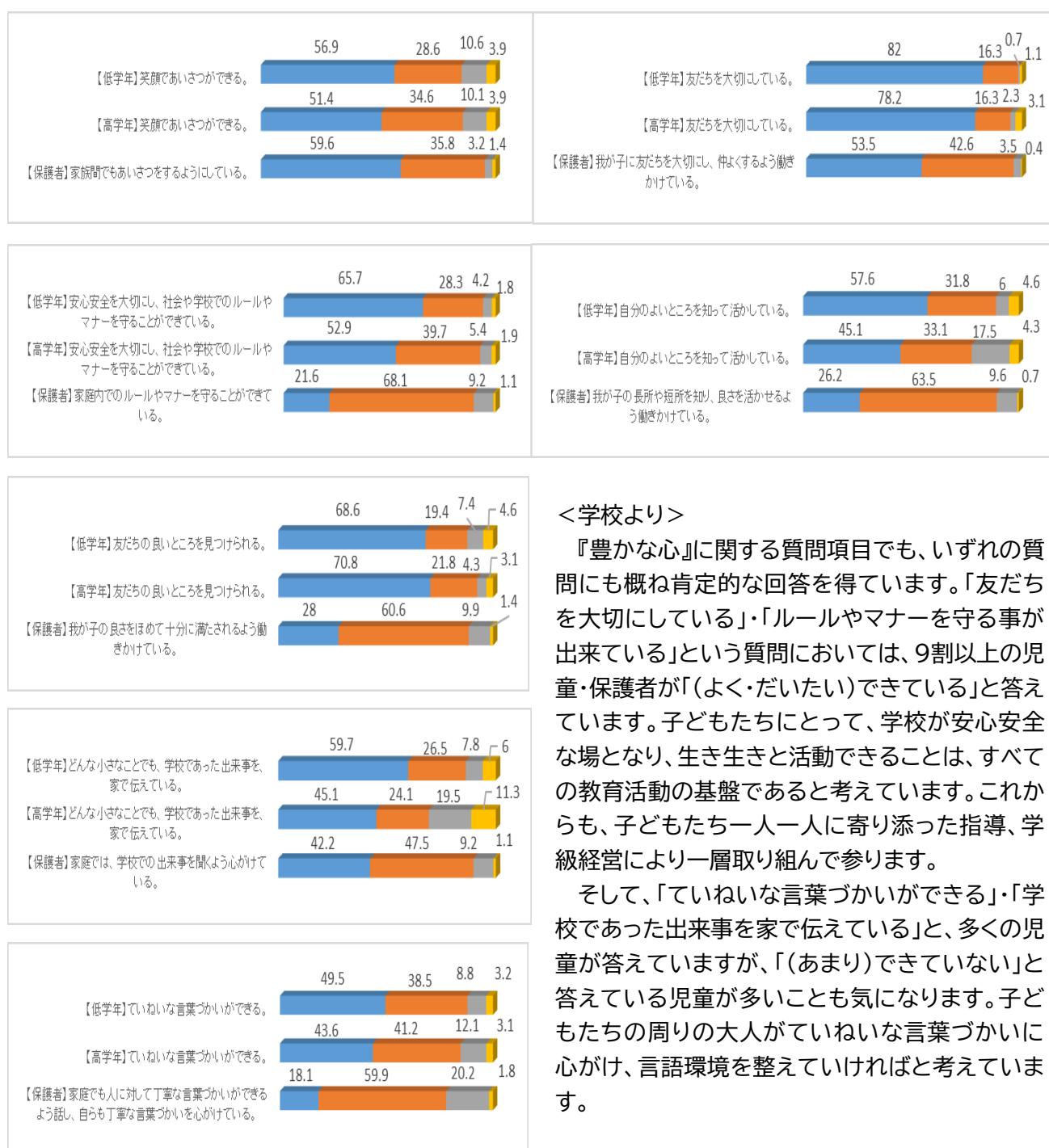
「宿題など学校以外でどのように学習したらよいか自分で分かっている」という質問においては、低学年

で18.7%、高学年で38.1%の児童が「(あまり)できていない」と答えています。また「学校だけでなく、家でも読書を楽しんでいる」という質問においても、低学年で14.5%、高学年で38.1%の児童が「(あまり)できていない」と答えていることは課題としてとらえています。学年が上がるにつれ、習い事等を始める児童も多く、決まった時間に家庭学習に取り組めない状況もあるかと思いますが、家庭学習の取り組み方を、児童に分かりやすく提示し、児童の個性に合った学習への取り組みにつなげていきたいと考えております。

毎日の授業においても、めあて・見通しの確認や、まとめと振り返りの徹底を通じて、学習したことの価値や意義を自ら確認できる授業を展開し、意欲的な学びを引き出せるよう指導して参ります。

豊かな心

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない



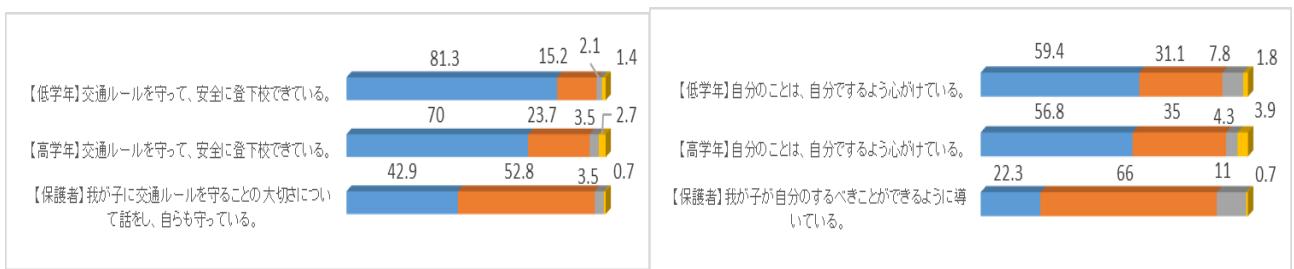
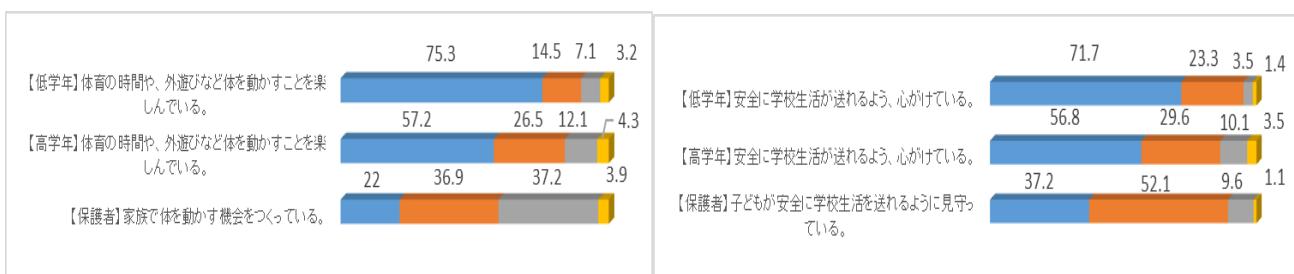
<学校より>

『豊かな心』に関する質問項目でも、いずれの質問にも概ね肯定的な回答を得ています。「友だちを大切にしている」・「ルールやマナーを守る事が出来ている」という質問においては、9割以上の児童・保護者が「(よく・だいたい)できている」と答えています。子どもたちにとって、学校が安心安全な場となり、生き生きと活動できることは、すべての教育活動の基盤であると考えています。これからも、子どもたち一人一人に寄り添った指導、学級経営により一層取り組んで参ります。

そして、「ていねいな言葉づかいができる」・「学校であった出来事を家で伝えている」と、多くの児童が答えていますが、「(あまり)できていない」と答えている児童が多いことも気になります。子どもたちの周りの大人がていねいな言葉づかいに心がけ、言語環境を整えていければと考えています。

健やかな心と体

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない



<学校より>

『健やかな心と体』に関する質問項目でも、いずれの質問にも概ね肯定的な回答を得ています。「交通ルールを守って、安全に登下校できている」という質問においては、9割以上の児童・保護者が「(よく・だいたい)できている」と答えています。

そして、「早寝・早起きをし、毎日朝ご飯を食べている」と多くの児童が答えていますが、「(あまり)できていない」と答えている児童もいます。児童の成長には、『早寝・早起き・朝ご飯』をはじめ、十分な睡眠、バランスの取れた食事、適切な運動など規則正しい生活習慣が大切です。今一度、各ご家庭でも生活習慣の見直しをお願いいたします。

「こども育みアンケートの結果と分析」への提言 —開かれた学校委員会での討議を中心に—

修学院小学校学校運営協議会は、PTA役員さんや地域の皆さんにご参画いただき、学校教育や環境、安全などについて学校との質疑応答や諸提案を行っております。特に「開かれた学校委員会」では、年に2回のアンケートを実施し、その結果をもとに、低学年と高学年の達成度の違いや児童を見守る保護者の思いについて、結果データから検討を行っています。基本的にはどの項目についても「できている・大体できている」とする比率は高く、この点は保護者の皆さんや教職員の方々のしっかりとした取り組みの賜物と認識しております。

さて、結果データの小さなパーセントの推移を一般化して、ネガティブなコメントを書き並べることは厳に慎むべきと考えております。そのなかにあって、読書のあり方やことばづかい、朝食について、もう少し家庭や学校で取り組むことができればと思います。なお、学校の校舎自体の老朽化も目立っています。今のところ、直接、児童の安全を脅かすことはないと思いますが、地域として校舎の新築などを行政に積極的に働きかける必要を感じています。引き続き、当協議会では修学院小学校の良き理解者として活動をして参ります。

(当会理事 小池寛)